

ASEAN経済共同体発足で問われることは何か —オールジャパンの官民が連携した物流・インフラ等の展開 に向けて—

2016年2月3日

株式会社日本総合研究所
調査部 上席主任研究員
大泉 啓一郎
oizumi.keiichiro@jri.co.jp

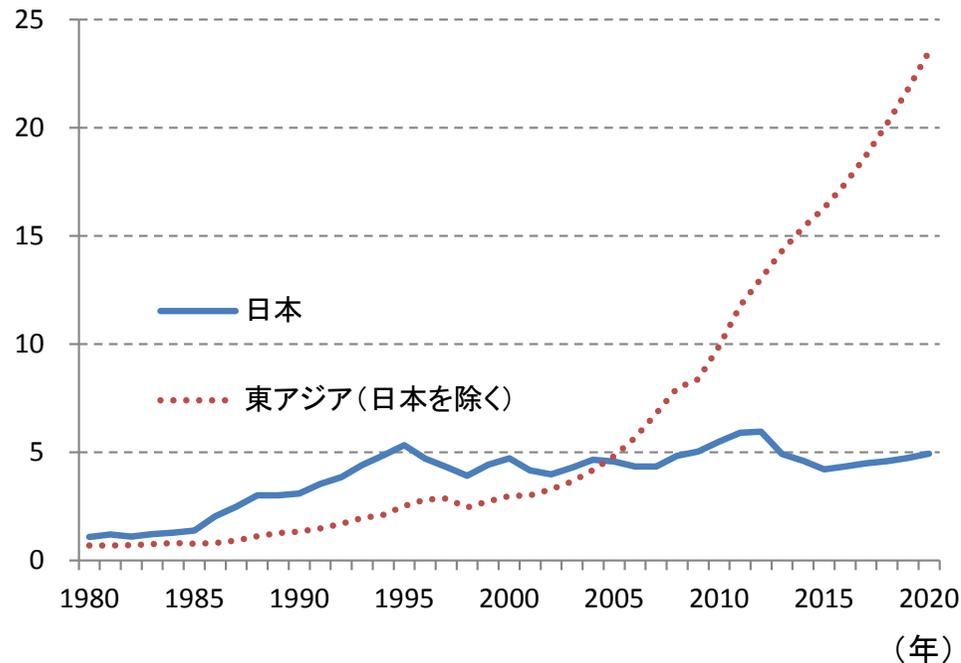
報告の内容

1. なぜASEANなのか
⇒ 変わる日本の立ち位置
2. ASEAN経済共同体
⇒ 事実上の経済統合進む
3. ASEANの生産体制の未来
⇒ 新興国・途上国向け生産拠点に変貌できるか
4. ASEANの購買力
⇒ 新興国・途上国市場をどう開拓するか
5. 今後の課題

1. なぜASEANなのか 変わる日本の立ち位置

【資料1】 変わる日本の立ち位置

図表 日本と東アジアの名目GDPの推移
(兆ドル)



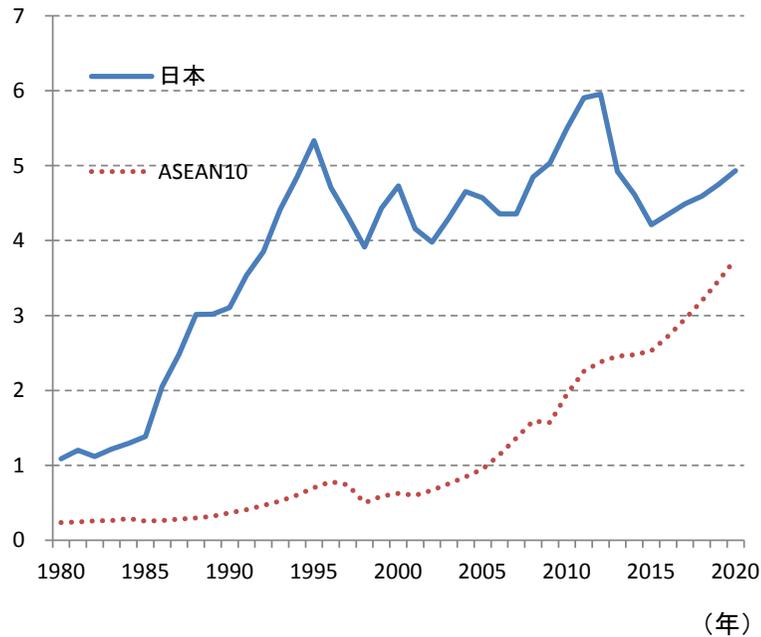
(注)東アジアは、韓国、台湾、香港、中国、ASEAN加盟10カ国

(出所)IMF, World Economic Outlook, April 2015

【資料2】名目GDPと購買力平価GDP (ASEANと日本)

図表 日本とASEANの名目GDPの推移

(兆ドル)

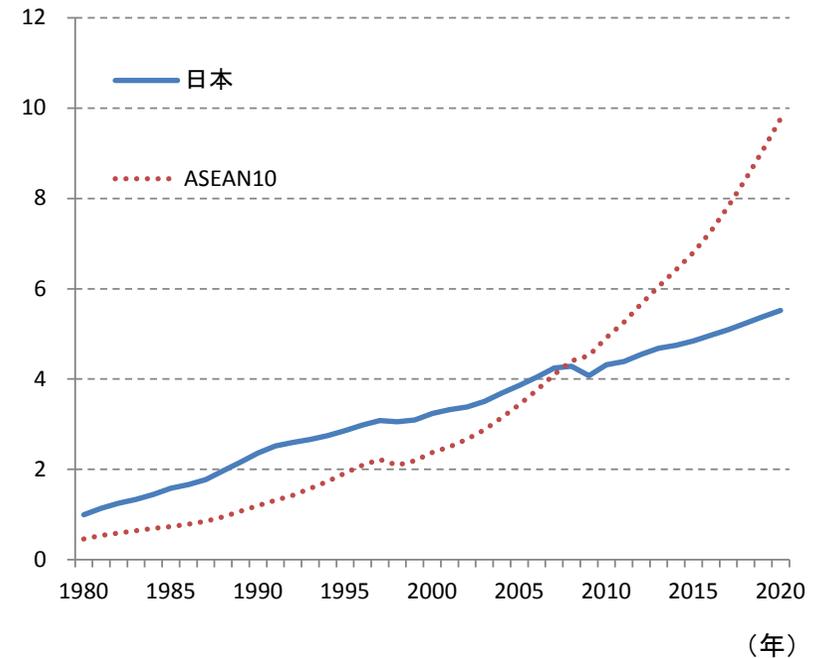


(注)ASEAN10は、ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム

(出所)IMF, World Economic Outlook, April 2015

図表 日本とASEANの購買力平価ベースGDPの推移

(兆ドル)



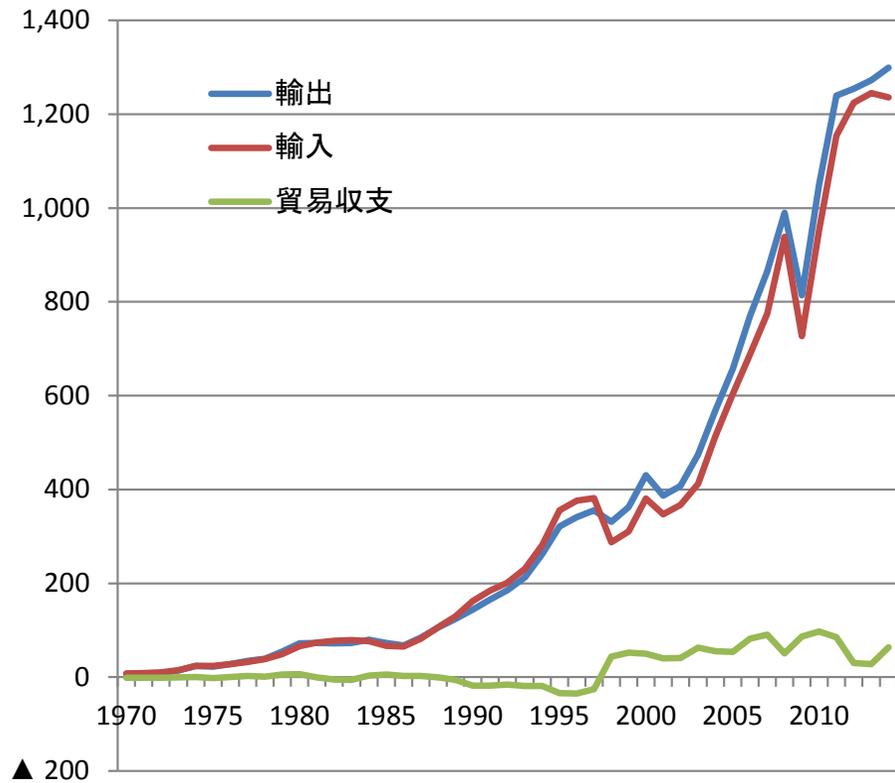
(注)ASEAN10は、ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム

(出所)IMF, World Economic Outlook, April 2015

【資料3】ASEANの貿易動向

図表 ASEANの輸出入

(10億ドル)



(資料) UNCTAD

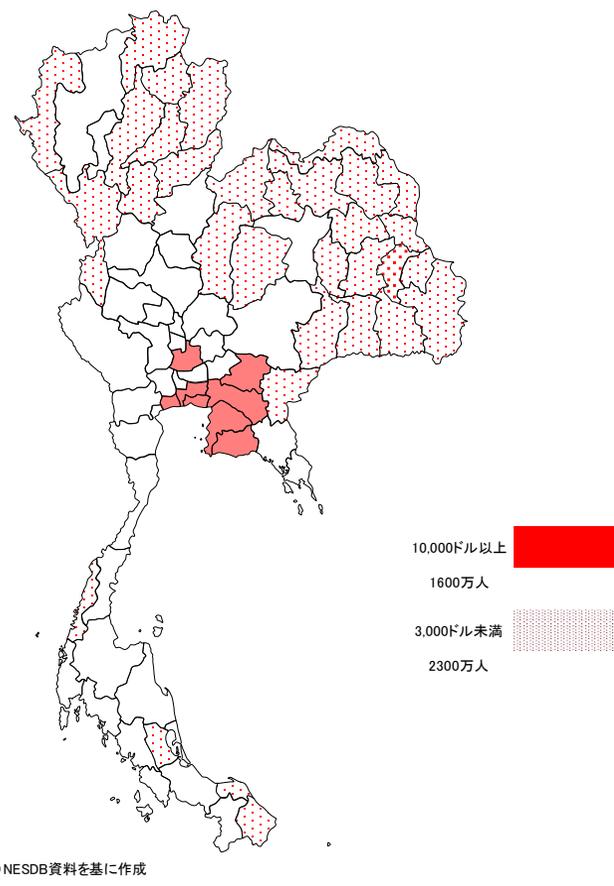
(年)

【資料4】ASEANをけん引するメガ都市 (都市部の一人当たりGDPは1万ドルを超える)



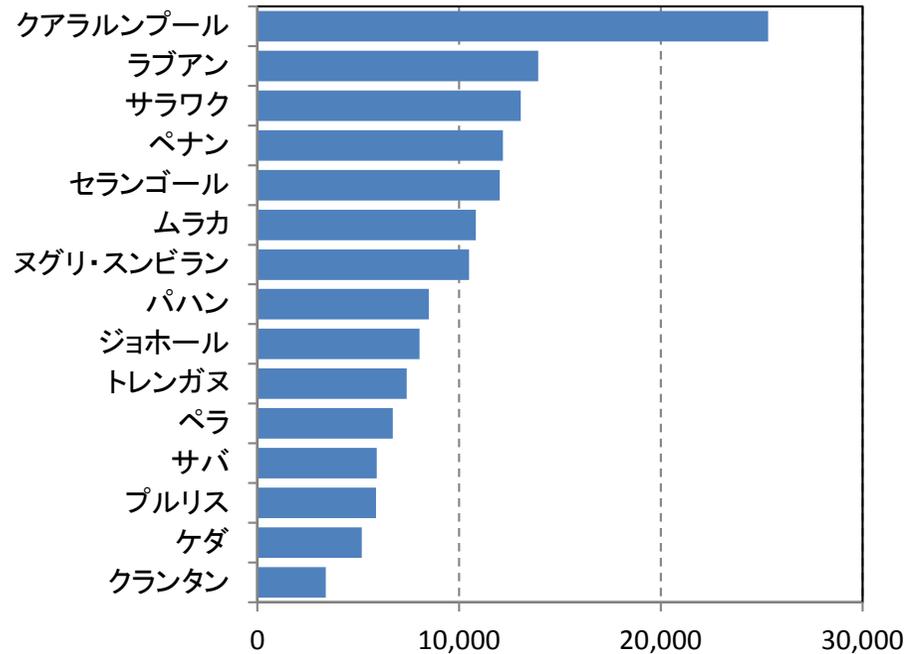
バンコク(タイ)2013年8月撮影
タイ:一人当たりGDP6000ドル

図表 県別一人当たりGDP (2013年)



【資料5】クアラルンプールはマレーシアか？

マレーシアの州別一人当たりGDP(2013年)



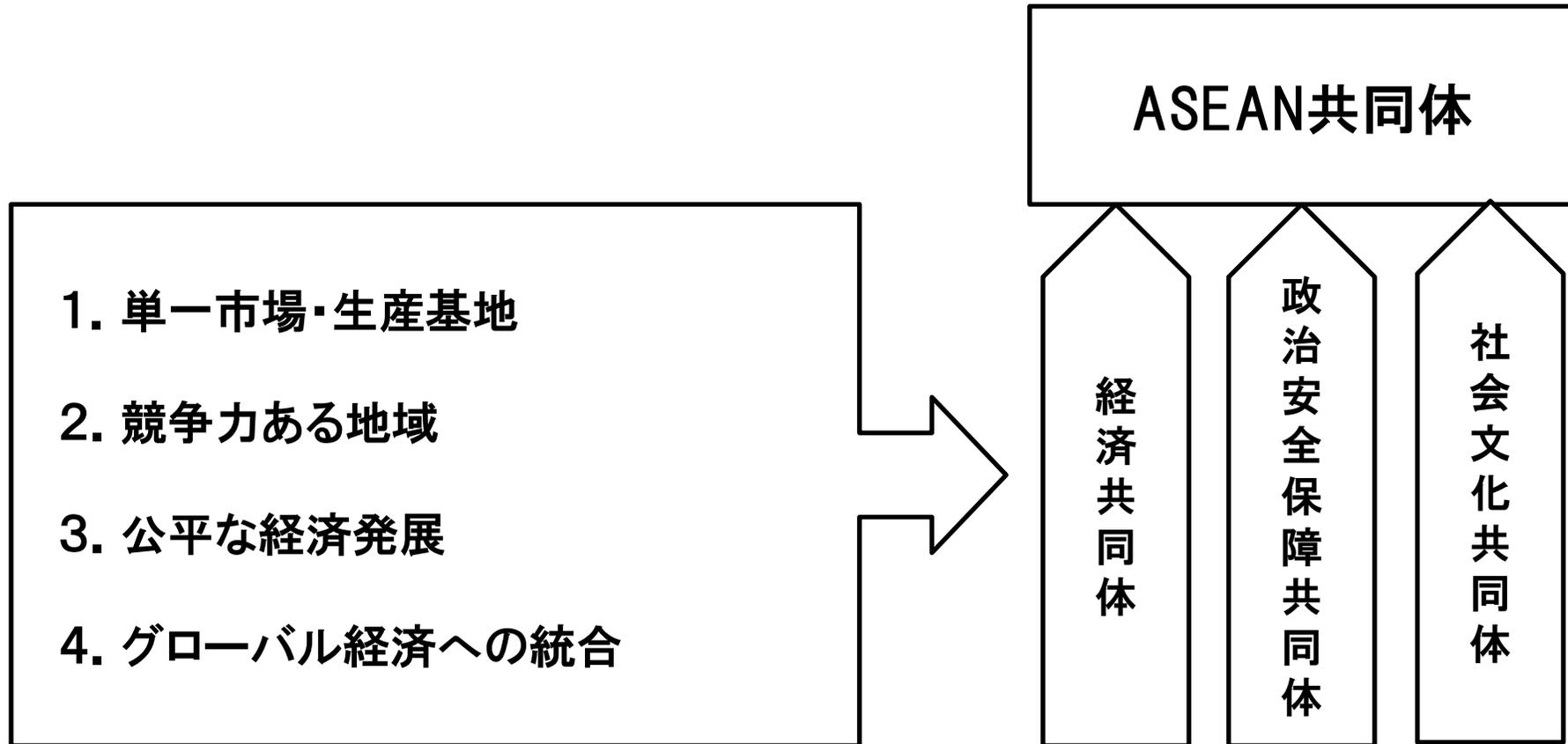
(注) 全国平均10,387ドル

(資料) CEIC

(ドル)

2. ASEAN経済共同体 事実上の経済統合進む

【資料6】 ASEAN共同体とは



【資料7】 ASEAN加盟国

図表 ASEAN加盟国の加盟年月日、人口、経済規模

	加盟年月日	人口 (100万人)	経済規模 (10億ドル)	一人当たりGDP (ドル)	農業部門 就業者比率 (%)	都市化率 (%)
先発ASEAN						
ブルネイ	1984年1月8日	0.4	15.1	36,829	-	76.0
シンガポール	1967年8月8日	5.5	308.1	56,316	0.1	100.0
マレーシア	1967年8月8日	30.3	326.9	10,804	12.9	73.0
タイ	1967年8月8日	68.7	373.8	5,444	41.2	44.5
インドネシア	1967年8月8日	251.5	888.7	3,534	32.9	50.1
フィリピン	1984年1月8日	99.4	284.9	2,866	28.9	49.1
後発ASEAN						
ベトナム	1995年7月28日	90.6	186.1	2,053	45.9	32.2
ラオス	1997年7月23日	6.9	11.7	1,693	67.0	35.3
ミャンマー	1997年7月23日	51.4	62.8	1,221	-	30.8
カンボジア	1999年4月30日	15.3	16.6	1,081	62.8	21.4

(注) データは2013年もしくは2014年の最新値、ラオスの農業部門就業人口比率は2010年

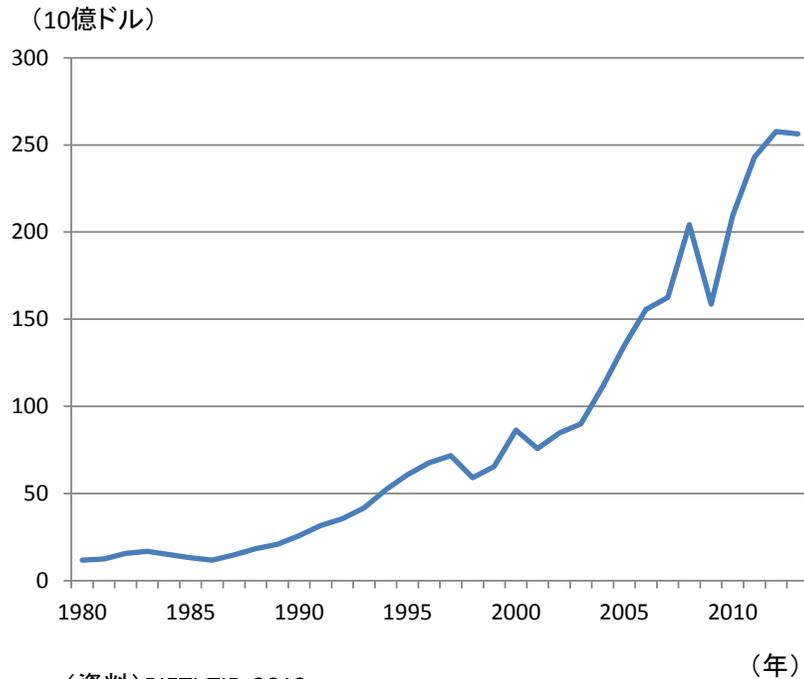
(資料) ADB, *Key Indicators*. IMF, *World Economic Outlook October 2014*

【資料8】 ASEAN自由貿易地域への動き

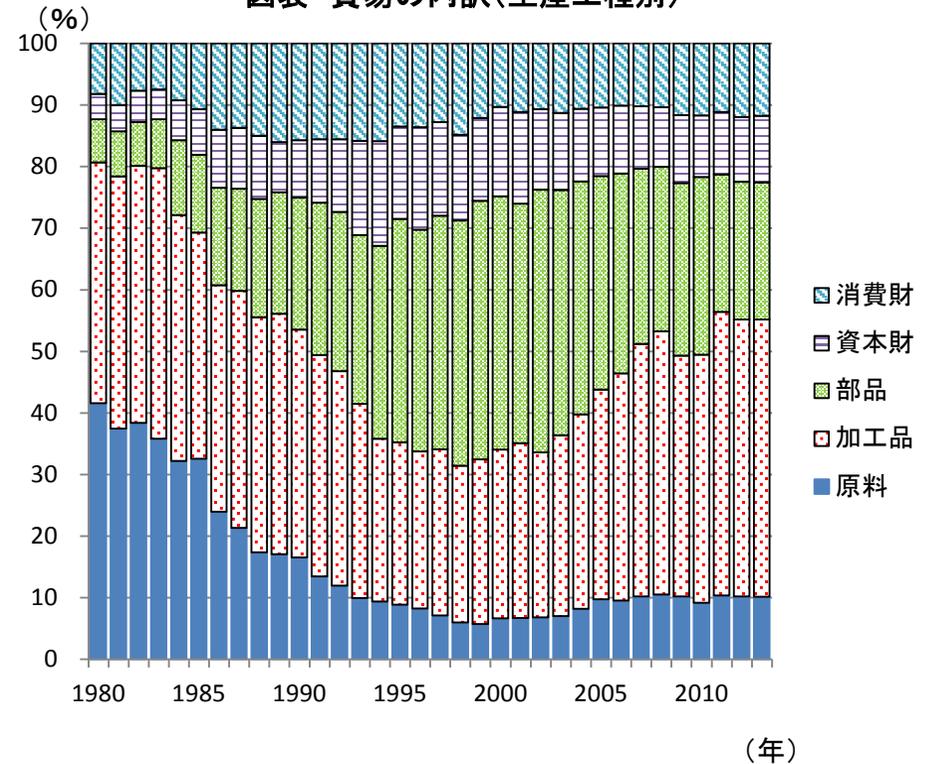


【資料9】 事実上の経済共同体

図表 ASEAN域内貿易



図表 貿易の内訳(生産工程別)



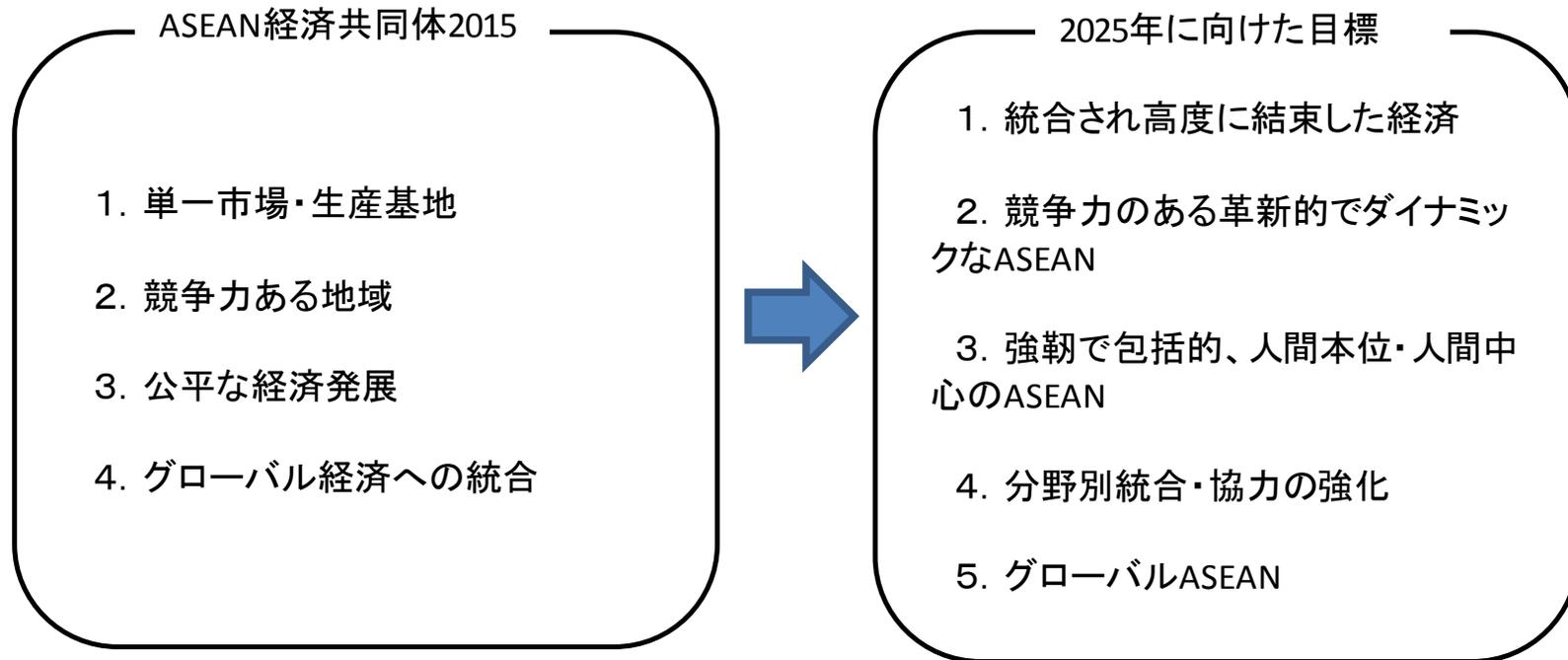
【図表10】ASEANと中国の分業体制

図表 中国の対ASEAN輸入上位20品目(2014年)

	HSコード	品目名	金額 (100万ドル)	ASEAN依存度 (%)	ASEANの上位2カ国 ()は金額(100万ドル)	
1	8542	集積回路	43,447	22.3	マレーシア(24,935)	フィリピン(5,988)
2	7103	ルビーなど貴石	12,594	48.9	ミャンマー(11,793)	タイ(800)
3	8471	コンピュータ関連製品	10,348	54.4	タイ(4,216)	フィリピン(2,398)
4	2710	石油精製品	6,431	27.4	シンガポール(3,687)	マレーシア(2,010)
5	8541	半導体デバイス	5,543	23.5	マレーシア(3,195)	フィリピン(998)
6	8473	コンピュータ関連部品	4,911	42.4	フィリピン(2,413)	タイ(1,631)
7	4001	天然ゴム	4,902	99.0	タイ(3,047)	インドネシア(713)
8	1511	パーム油	4,383	100.0	マレーシア(2,368)	インドネシア(2,015)
9	2604	ニッケル鉱	3,819	83.4	フィリピン(2,964)	インドネシア(760)
10	2711	軽油	3,793	12.6	マレーシア(1,408)	ミャンマー(1,323)
11	2701	石炭	3,716	19.7	インドネシア(3,241)	ベトナム(441)
12	3901	エチレン重合体	3,657	22.1	タイ(1,649)	シンガポール(1,616)
13	2702	亜炭	3,332	99.5	インドネシア(3,071)	フィリピン(256)
14	2902	環式炭化水素	3,181	14.7	シンガポール(1,417)	タイ(963)
15	8517	携帯電話を含む通信機器	2,947	15.0	マレーシア(891)	ベトナム(815)
16	4005	配合ゴム(未加硫)	2,939	90.2	タイ(1,528)	マレーシア(985)
17	8525	デジタルカメラなど記録媒体	2,529	37.8	タイ(544)	タイ(544)
18	2715	鉱物タール	2,401	99.1	マレーシア(1,972)	インドネシア(370)
19	3902	プロピレン重合体	2,113	24.5	シンガポール(1,340)	タイ(521)
20	714	カッサバ	2,113	100.0	タイ(1,717)	ベトナム(341)

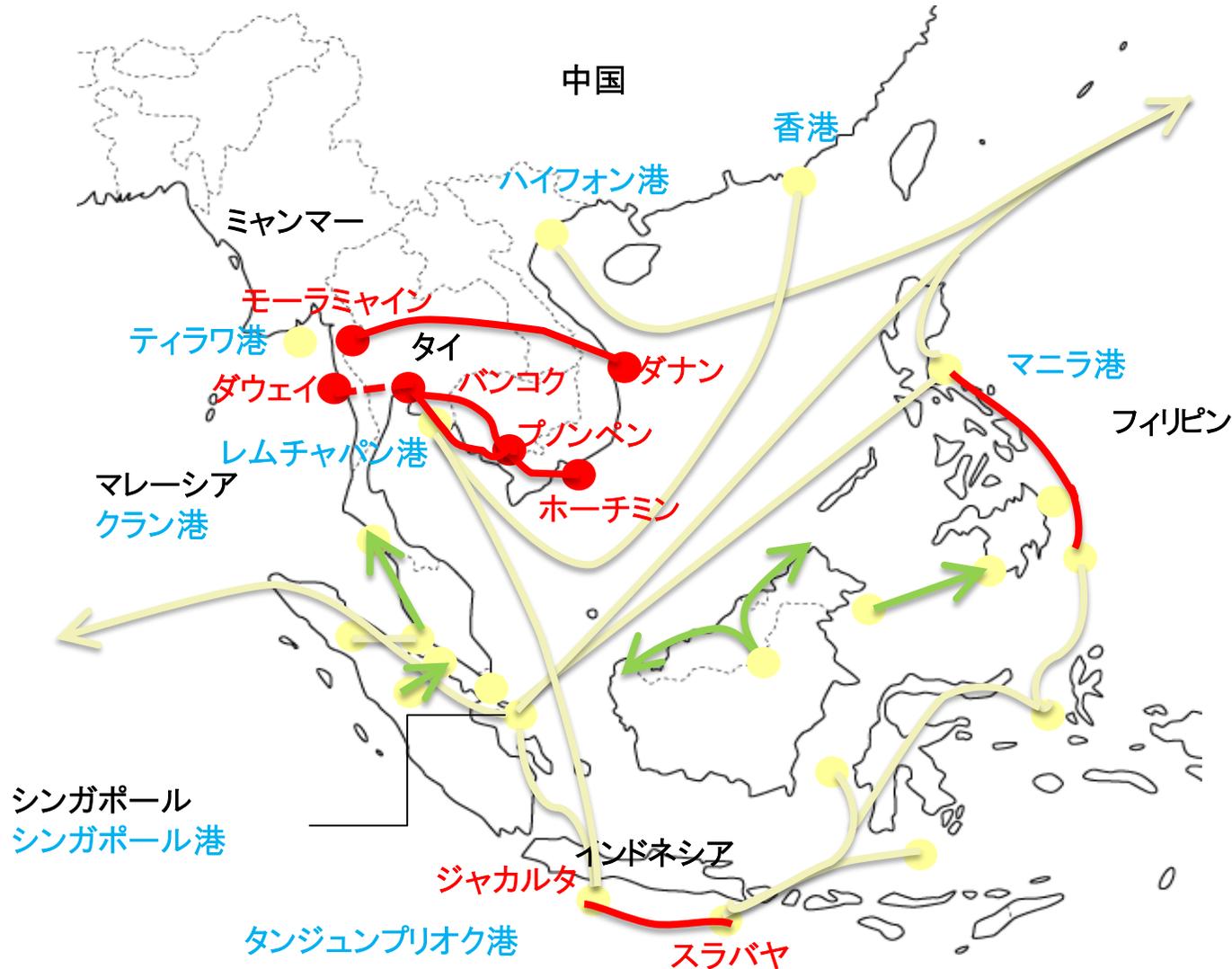
(出所) UN, Comtrade

【資料11】 ASEANは、どこを目指す



(出所)福永佳史[2015]「ASEAN経済統合の将来展望」石川幸一・朽木昭文・清水一史編『現代ASEAN経済論』文眞堂

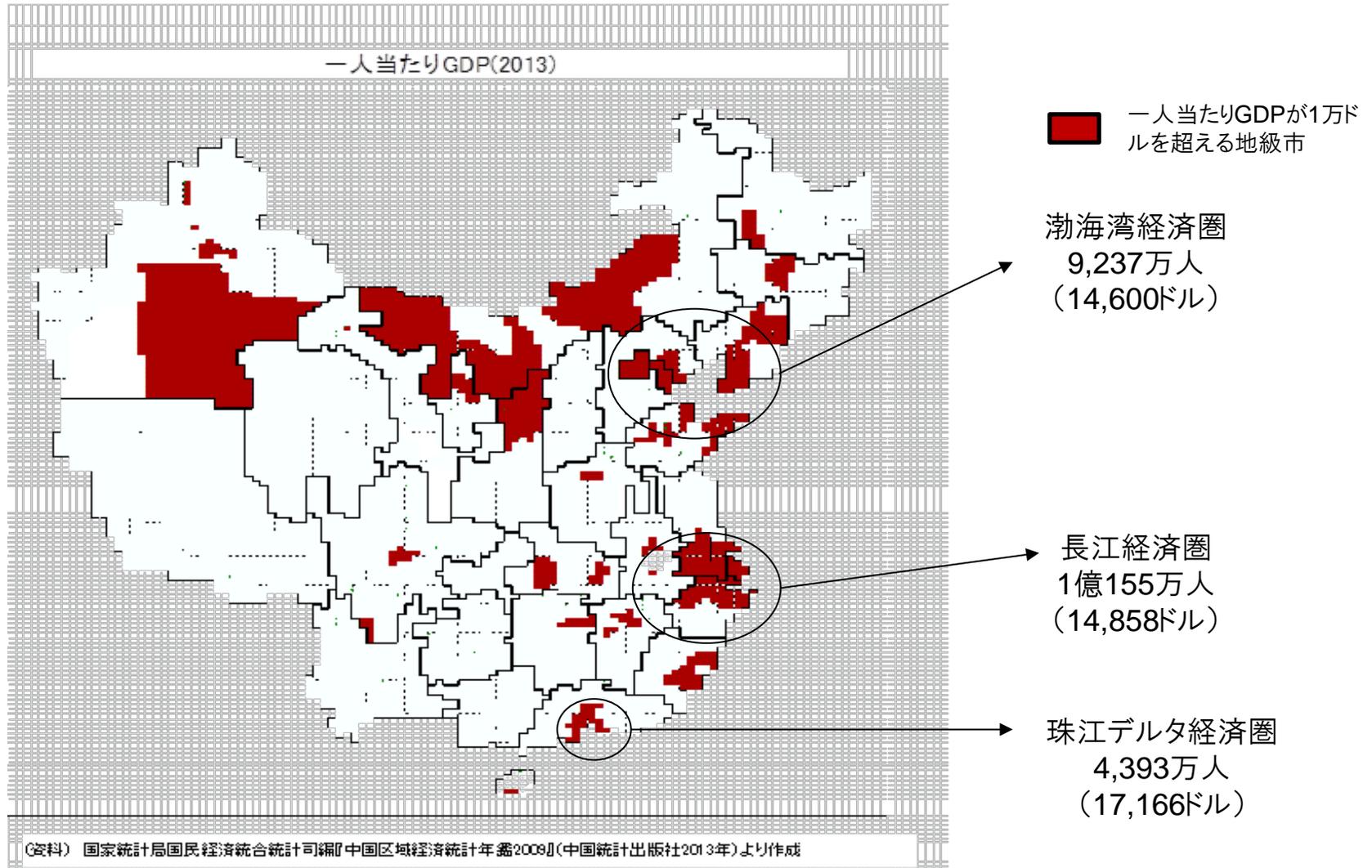
【資料12】期待される運輸インフラの進展



【資料13】 ASEANから新興国・途上国を攻める

相手国			交渉の推移
中国			交渉開始: 2002年4月 署名: 2004年11月 発効: 2005年7月
インド			交渉開始: 2004年3月 署名: 2009年8月 発効: 2010年1月
韓国			交渉開始: 2005年2月 署名: 2006年8月 発効: 2007年6月
豪州・ニュージーランド			交渉開始: 2005年2月 署名: 2009年2月 発効: 2010年1月
日本			交渉開始: 2005年4月 署名: 2008年4月 発効: 2008年12月

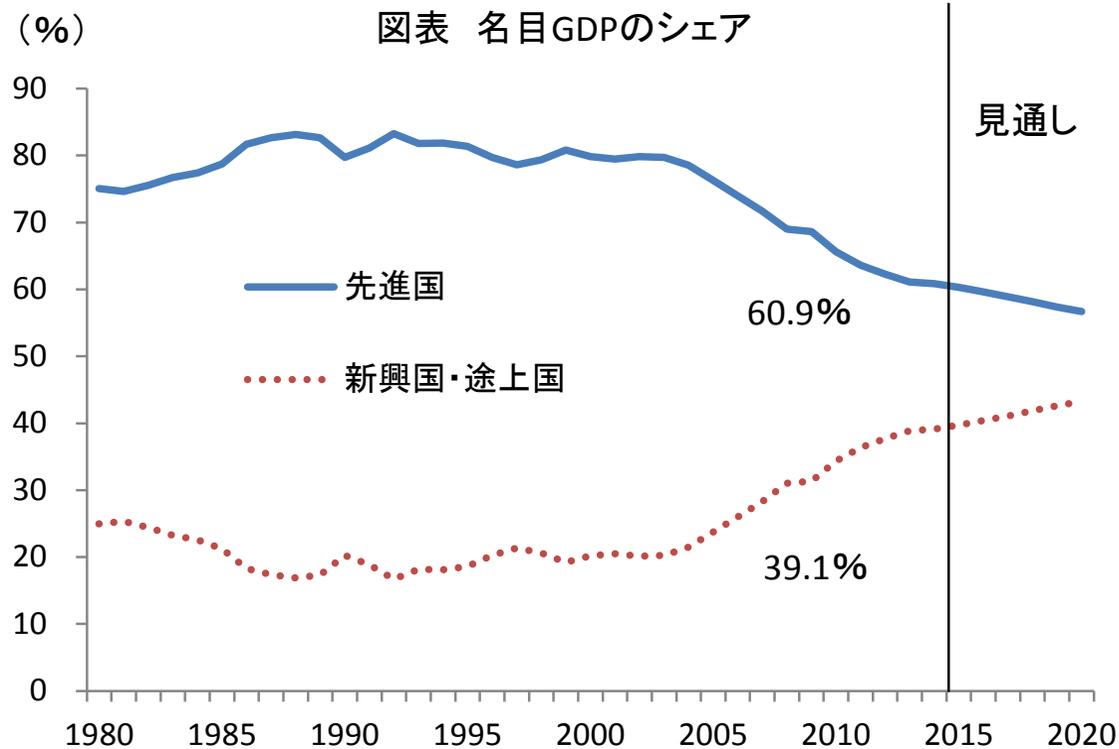
【資料14】 中国のメガリージョン



3. ASEANの生産体制の未来

新興国・途上国向けの生産拠点に変貌できるか

【資料15】 世界経済は先進国から新興国・途上国へ



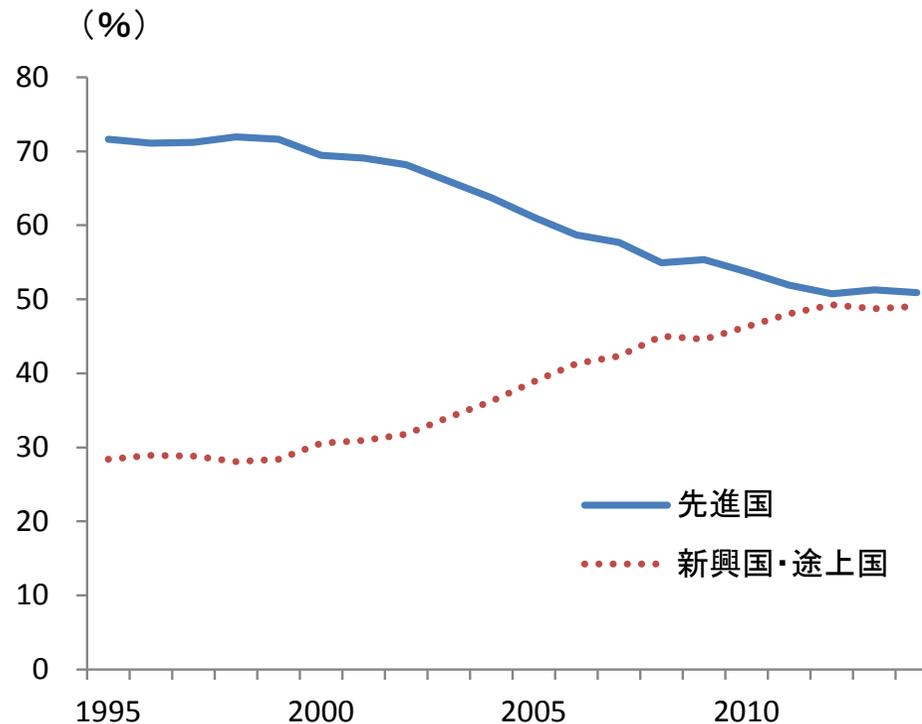
(注) 数値は2014年

(資料) IMF, *World Economic Outlook*, April 2015

(年)

【資料16】 新興国・途上国市場は新興国・途上国から

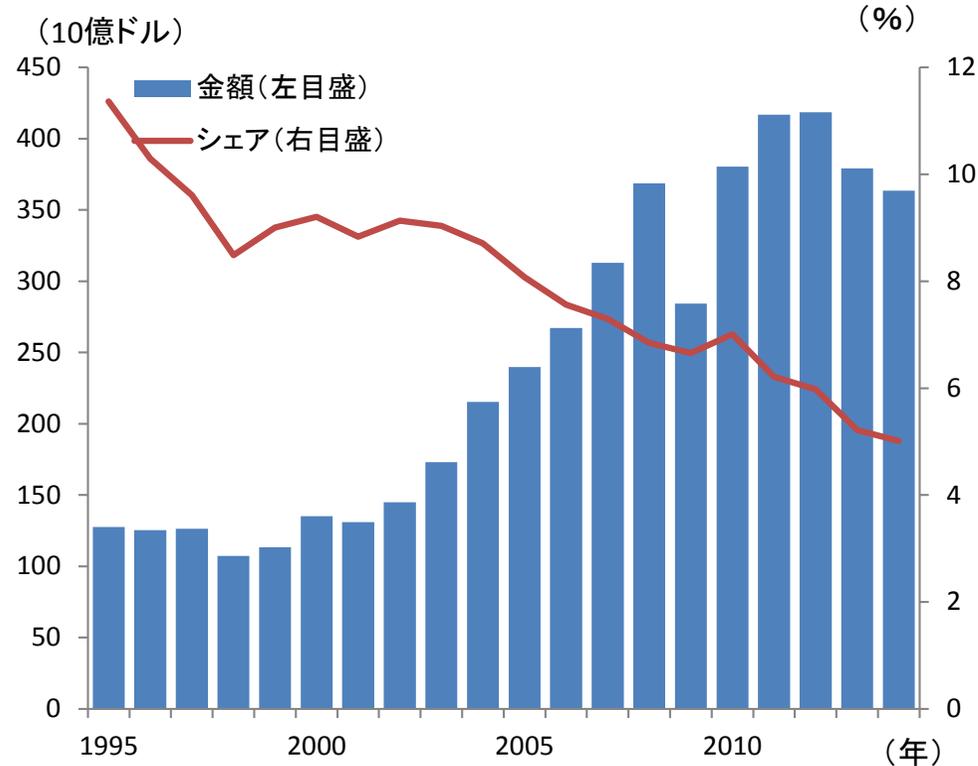
図表 新興国・途上国の輸入におけるシェア



(資料) UNCTAD

【資料17】 新興国・途上国における対日本輸入

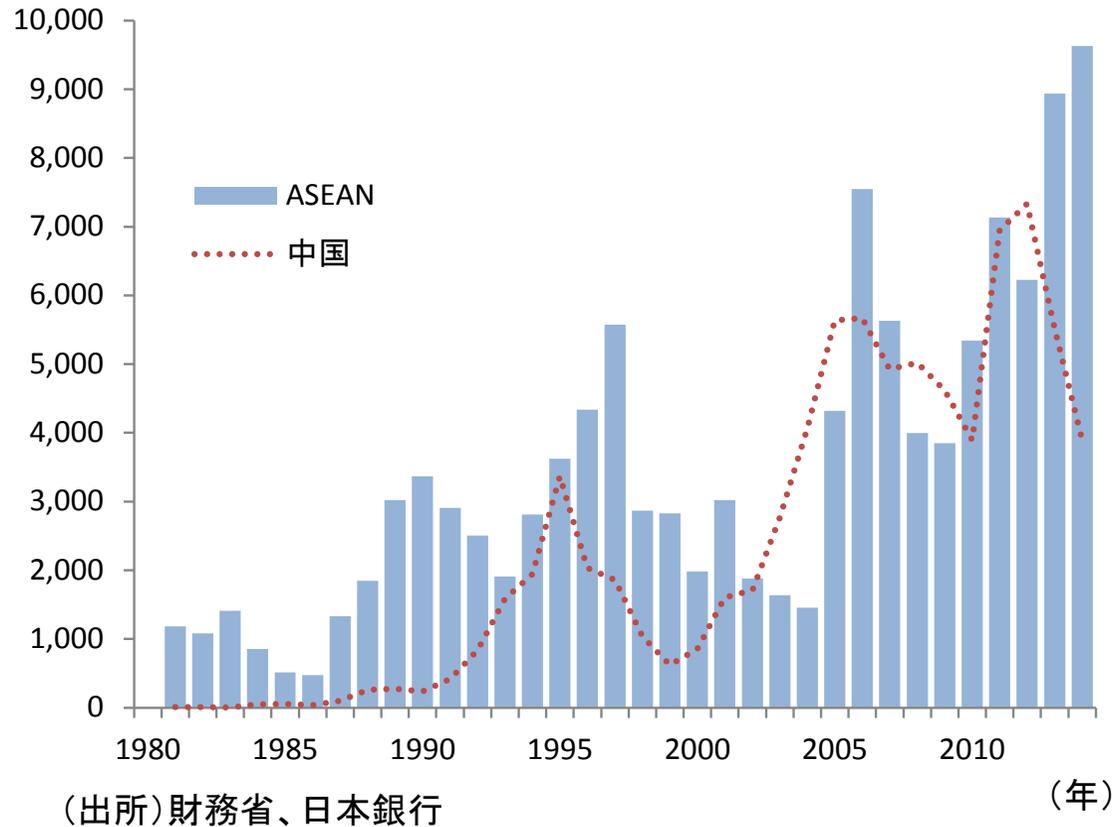
図表 新興国・途上国における対日本輸入



(資料) UNCTAD

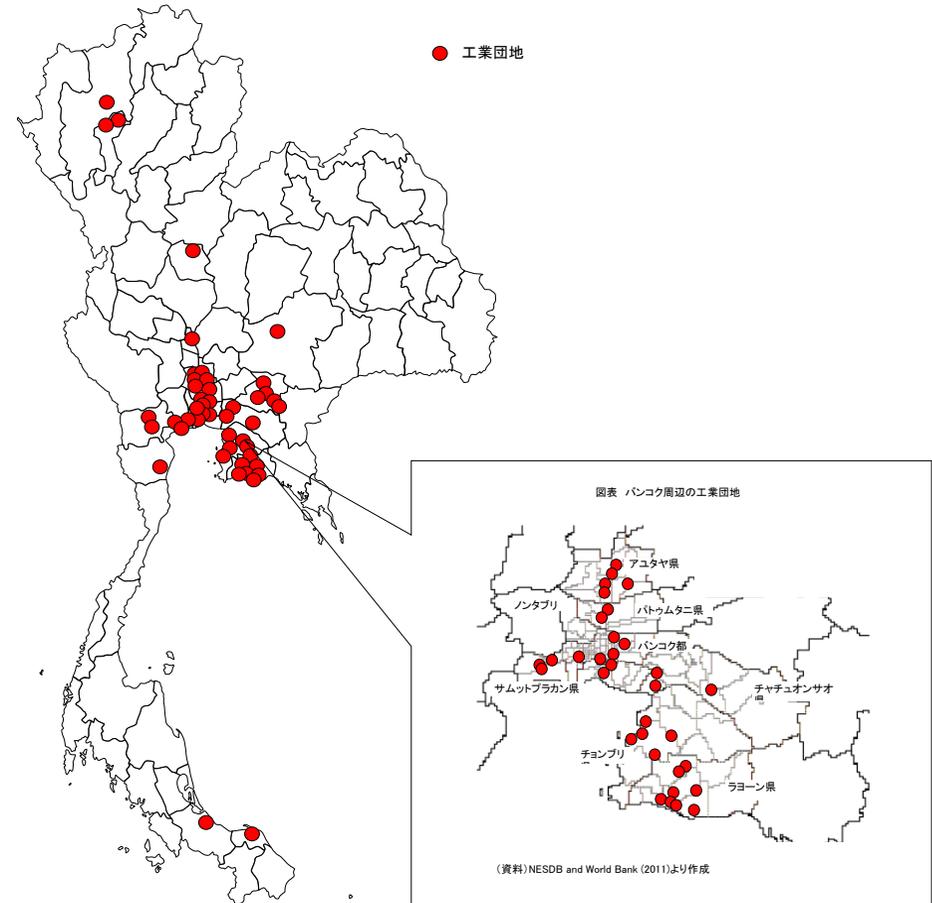
【資料18】 日本企業がASEAN本格的に進出して四半世紀

図表 日本の対ASEAN直接投資(製造業)

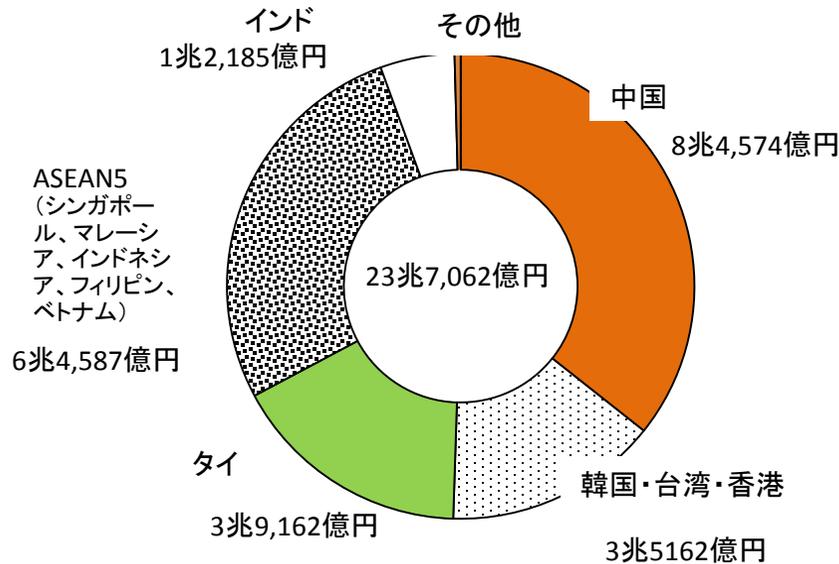


【資料19】 タイは、海外にあるもうひとつの工業地帯

図表 タイの工業団地分布図



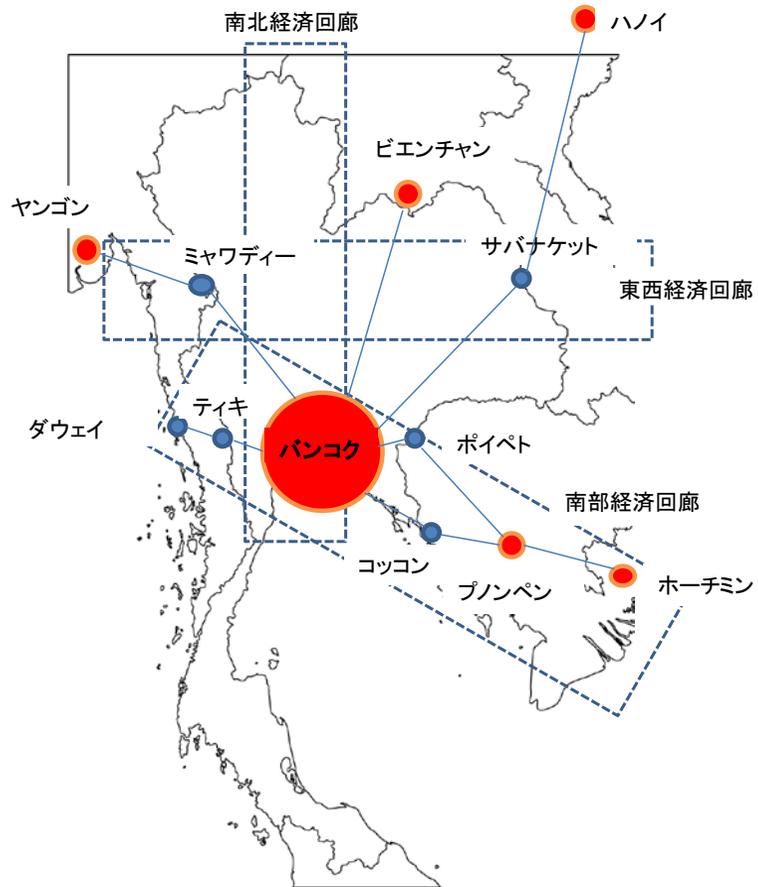
図表 日本のアジアにおける直接投資累計額
(製造業:2014年末)



(資料) 日本銀行統計

【資料20】 タイプラスワンという新しいビジネスモデル

図表 経済回廊とタイプラスワン



(資料) 日本総研作成

★チャイナプラスワン

中国向け投資のリスクを回避するために、中国以外に同様の投資を行うこと

★タイプラスワン

タイにある生産拠点のうち労働集約的な工程を、労働コストの安い近隣諸国へ移管すること

→サプライチェーンの拡張

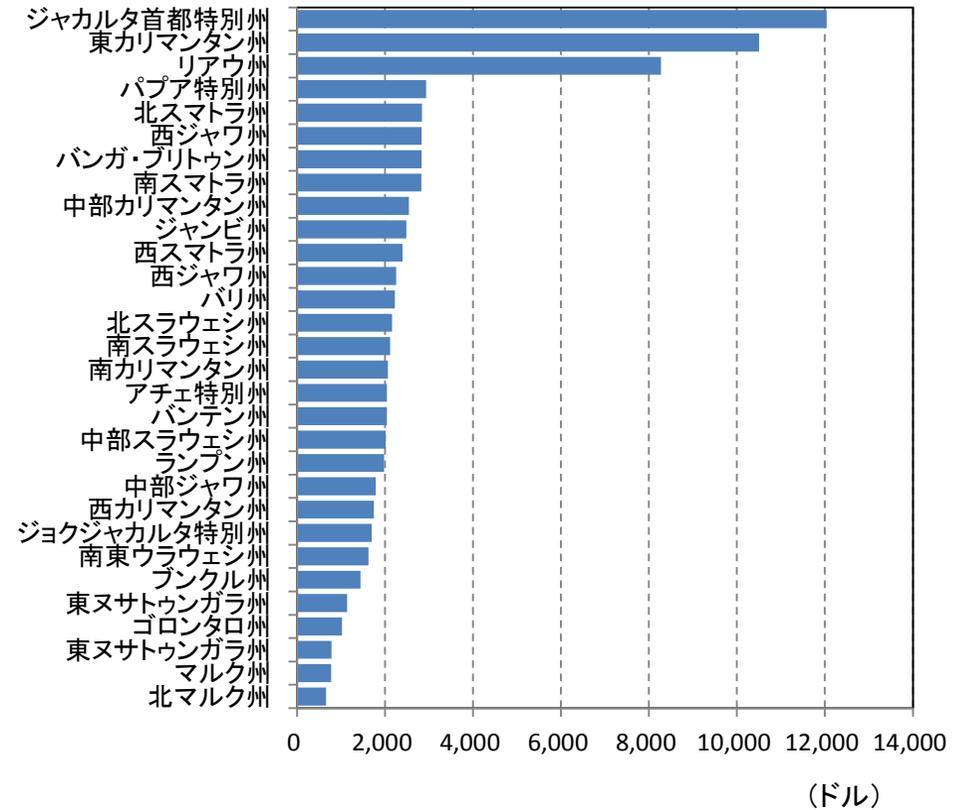
4. ASEANの購買力

新興国・途上国市場をどう開拓するか

【資料21】 ジャカルタ経済圏



インドネシアの州別一人当たりGDP(2013年)



(資料)CEICより作成

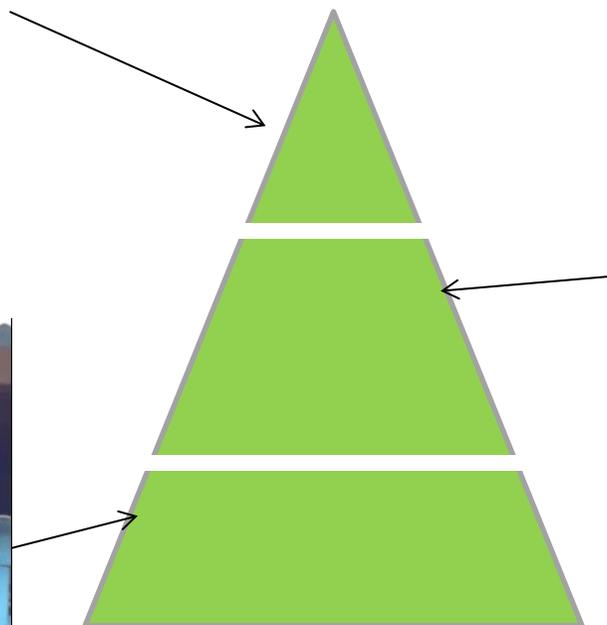
【資料22】 重層化する市場



高級ショッピングモール(ジャカルタ)
2013年9月撮影



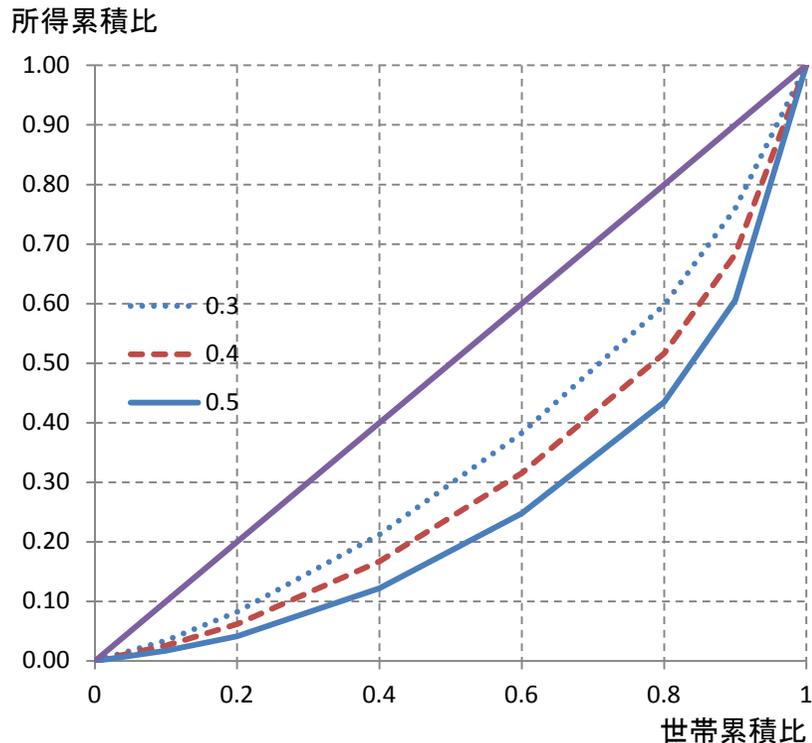
ローカルな小売り(ジャカルタ)
2014年8月撮影



ローカルなコンビニエンスストア
(ジャカルタ)
2013年9月撮影

【資料23】 所得格差と富裕層

所得のローレンツ曲線



(出所) World Bank, World Development Indicators 2011 より筆者試算

所得格差が大きい: ジニ係数 ≈ 0.4

(平等: 0 ~ 不平等: 1)

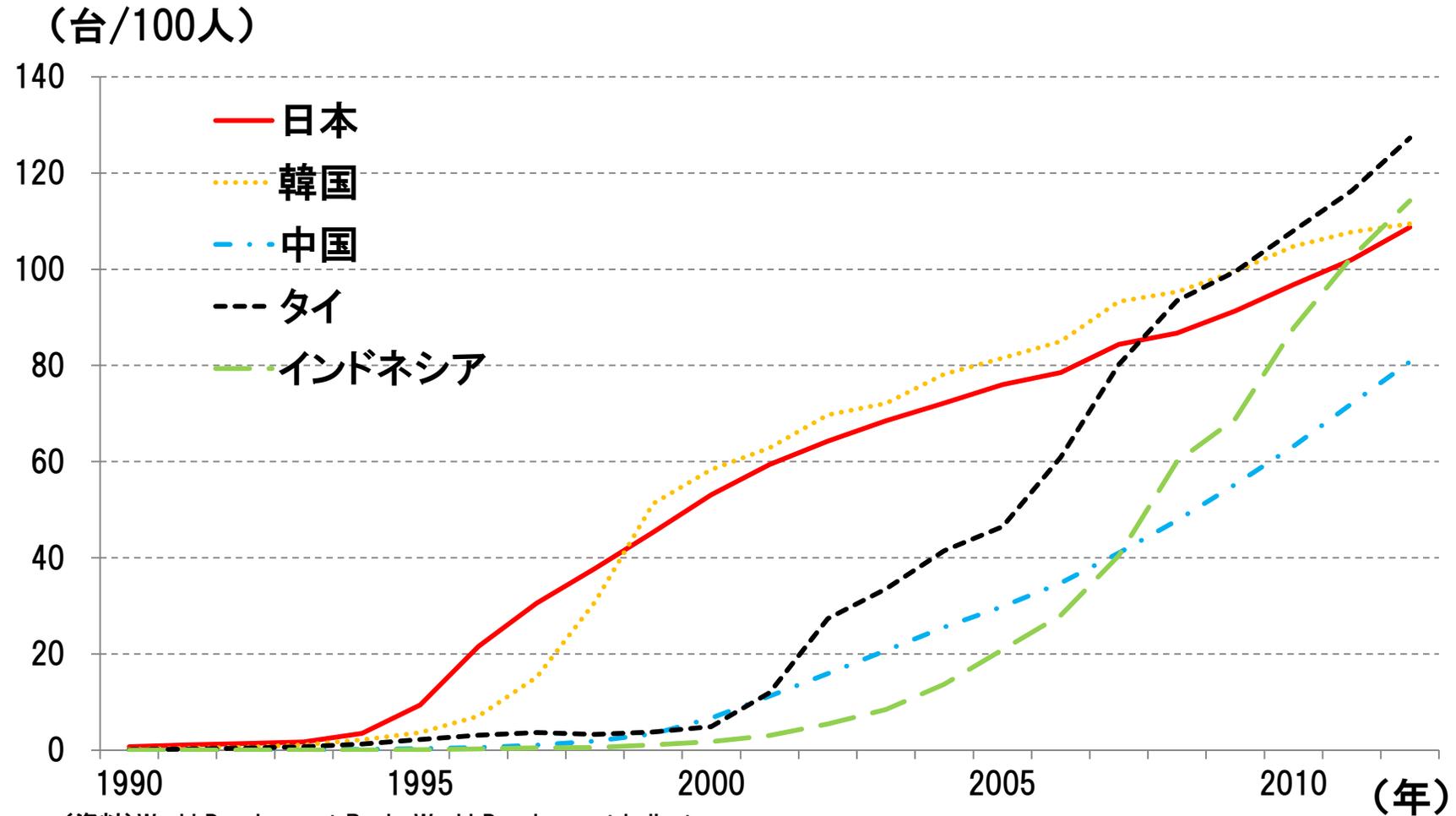
0.4は、社会が不安定化する水準

上位20%が所得の半分

上位10%が全所得の30%以上

大都市には想像以上の高所得者

【資料24】 変わるライフスタイル（携帯電話の保有台数）



5. 今後の課題

【資料25】ASEANビジネスに取り組む際の3つの課題

労働力をいかに確保するか

- ・ 生産拠点近辺の労働力調査

消費市場をいかに開拓するか

- ・ 場所とニーズの把握、飽和点の設定
- ・ 調達場所をどこにするか

インフラ建設・市場をいかに参入するか

- ・ 国際機関、現地政府の動きを把握する
- ・ 協力関係をいかに構築するか

【資料26】さらにグレードアップするための3つの課題

現地政府とともに歩む

- ・ 現地政府とともに国内集積地の生産性向上を図る(インフラ整備を含む)

現地企業とともに歩む

- ・ 新興国・途上国の市場開拓について、ASEAN企業の活力を活用する

現地の人たちとともに歩む

- ・ 現地の生産活動への取り組み意欲を啓発する

ご清聴ありがとうございました。